



令和8年度スタートウィーク・・・心機一転の春

桜前線が加速度的に北上し、春爛漫の言葉通りの季節となるなか、4クラス160名の新入生を迎えることができ、新年度が始まりました。

新鮮さと慌ただしさ

4月の第2週は、多くの学校と同様に今年度も始業式→入学式→1年生オリエンテーション→身体測定・新入生歓迎会→課題テスト→通常授業という流れで1週間が過ぎました。始業式では引き締まった表情の2・3年生が、入学式では緊張した面持ちの1年生が少しずつ新しい環境に慣れ、学校全体が活気づいてきました。

桜とクラブ活動

春の風物詩として、短期間に咲き誇る花と若者のエネルギーがミックスして、桜のもとで活動する高校生の姿が似合います。1年生の入部を前に熱心に練習したり、勧誘のためにピーアールしたりする様子が各所で見られました。見学期間中に複数のクラブに足を運ぶ1年生が初々しく、こちらも春先に見られる定番の光景です。

文武両道

フゲンゾウ(普賢象)という桜は、3月末に開花して散ってしまいましたが、4月第2週には一部の枝に綿のようにまとまった花びらが再び開花しました。また、鮮やかな深紅のツバキが、桜の木の下で存在感を放っています。生徒たちが元気よく学習やその他の活動に励み、成長できるよう支援していきたいと思います。

令和八年度
祝
入
学
式

伊那弥生ヶ丘高等学校



入学式後の1年生に声をかける上級生



登校風景



ソフトテニス部の練習



器楽部の練習



中庭で昼食をとる1年生



書道部のパフォーマンス



ツバキ



フゲンリウ